

Panasonic

DVCPRO HD

Digital HD Video Cassette Recorder

AJ-HD130 DC

取扱説明書

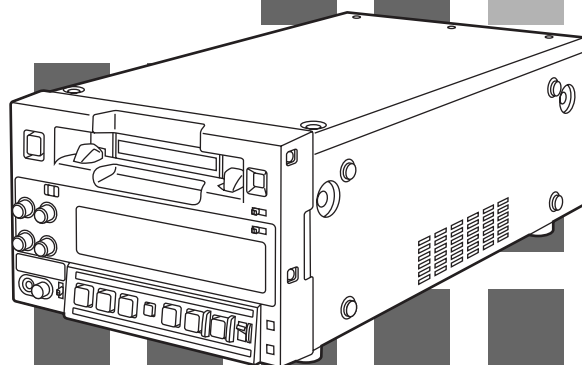
保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権（録画テープの取り扱い）

あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用はできません。



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

目次

安全上のご注意	3	セットアップメニュー	28
概要	8	SYSTEM	28
特長	8	BASIC	29
各部の名称と機能	9	OPERATION	31
フロントパネル	9	INTERFACE	33
リアパネル	14	TAPE PROTECT	33
操作方法	16	TIME CODE	34
電源投入/カセット挿入	16	VIDEO	36
STOPモード	16	AUDIO	37
記録	17	MENU	39
一時停止/記録(つなぎ撮り)	17	エラーメッセージ	40
再生	18	EMERGENCY イジェクト	41
早送り再生/巻き戻し再生	18	ビデオヘッドクリーニング	42
静止画再生	18	結露	42
リニア 0.3 倍速再生	19	お手入れについて	42
可変速再生	19	アフターサービス	43
リピート再生	20	定 格	44
タイムコード/ユーザズビットについて	21		
タイムコード	21		
ユーザズビット	21		
タイムコードの設定	21		
ユーザズビットの設定	22		
タイムコード/ユーザズビットの再生	22		
スーパーインポーズ画面	23		
セットアップ(初期設定)	24		
オンスクリーンメニューでの設定方法	24		
工場出荷時の設定値への戻し方	24		
ユーザーデフォルトの設定方法	25		
ユーザーデフォルトのロード方法	26		
メニュープロテクトの方法	26		
メニュープロテクトの解除方法	27		
DIAGメニューの表示方法	27		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について



警告

コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！



禁止

たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止





本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください









設置について

警告

<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所に置かない！</p> <p> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>		

使用方法について

警告

<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。</p>
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む！</p> <p> 感電の原因になります。</p>	<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

警告

本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

異常時の処理について

警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起すおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お手入れについて



警告

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

設置について



注意

電源コードを熱器具に近づけない！



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
禁止

油煙や湯気が当たる場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。
禁止

コードやショルダーベルトを下にたらしさない！



ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをするおそれがあります。
禁止

湿気やほこりの多い場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。
禁止

ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！



感電の原因となることがあります。
禁止

動かないように固定する！



車に載せる場合、本機をしっかり固定しないと、事故につながる恐れがあります。

プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
禁止

- 必ずプラグを持って抜いてください。

コネクターを抜くときは、コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
禁止

- 必ずコネクターを持って抜いてください。

本機の通風孔をふさがらない！



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
禁止
次のような使い方は、しないでください。










- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

安全上のご注意

必ずお守りください



使用方法について

⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>
<p>長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>専用 AC アダプター以外は、使用しない！</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>運転中、運転者は操作や鑑賞をしない！</p> <p> 操作・鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる！</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>接触禁止</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する！</p> <p> けがや死亡につながります。</p>

お手入れについて

⚠ 注意

<p>お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源 (プラグ) を抜く！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。</p>	
--	--	--

概要

本機は、1/4 インチ幅の小型カセットテープを採用し、インターレースHD 信号 (1080i/59.94Hz) とプログレッシブHD 信号 (720p/59.94Hz) の記録・再生が可能な、DVCPRO HD フォーマットのHD デジタルビデオカセットレコーダーです。ダウンコンバーター出力を標準で内蔵していますので、HD - SD 変換により、既存のSD (Standard Definition) システムとのインターフェース展開が可能です。

高効率のデジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は小型・軽量設計になっておりますので持ち運びにも負担が軽く、ラックに設置するときにも楽に行えます。

機器の各設定は、モニターテレビのオンスクリーンメニューを見ながら対話方式で行います。

特長

小型・軽量

本機のサイズは幅214mm、高さ132mm、奥行430mm、重量は8.2kgです。
把手を装備しているため、持ち運びに便利です。

効率的なラックへの設置

本機の幅は、19 インチの1/2 サイズ、高さは3U サイズです。
ラックへの設置が、従来機の2倍の効率で経済的です。

最大46分記録

使用するカセットテープは、テープ幅1/4インチLカセット(最大46分)専用です。
<ノート>
DVCPRO HD Lカセット(最大46分)以外は、使用しないでください。

高画質

本機は、既存DVCPROの4倍の記録レート(100Mbps)を持った4:2:2 HDコンポーネント信号記録により、高画質を実現しています。

1080i/720pスイッチャブル

本機は、映像信号入力(1080i/59.94Hz、720p/59.94Hz)に合わせた切り替えをセットアップメニューの設定で行うことにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。

SDダウンコンバーター

本機は、SDダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、HD SDI出力と同時に、SD SDI出力やアナログコンポジット出力ができ、SDモニターでのモニタリングが可能です。

AC/DCオペレーション

本機の電源は、AC 100VとDC 12Vの両方に対応しています。

つなぎ撮り機能

RECボタンとPAUSEボタンを組み合わせることで、オートバック機能が働き、乱れることなく、映像をつなぐことができます。

オンスクリーンメニュー設定

きめ細かな機能設定を、オンスクリーンで行うことができます。

タイムコード

本機はTCG(タイムコードジェネレーター)/TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。
また、外部からのタイムコードを入力することができますので、外部タイムコードにリジネすることが可能です。

多機能なインターフェース

● シリアルデジタル入出力

HDコンポーネントシリアルインターフェース入出力を装備しており、HDコンポーネント映像信号と8チャンネルのデジタルオーディオを、1本のBNCでインターフェースすることができます。(SMPTE 292M/296M/299M)

また、SDダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、SDコンポーネントシリアル信号をも出力することができます。(SMPTE 259M-C、272M-A)

● アナログビデオ出力

アナログコンポジットダウンコンバーターを標準で内蔵していますので、SDモニターでのモニタリングが可能です。

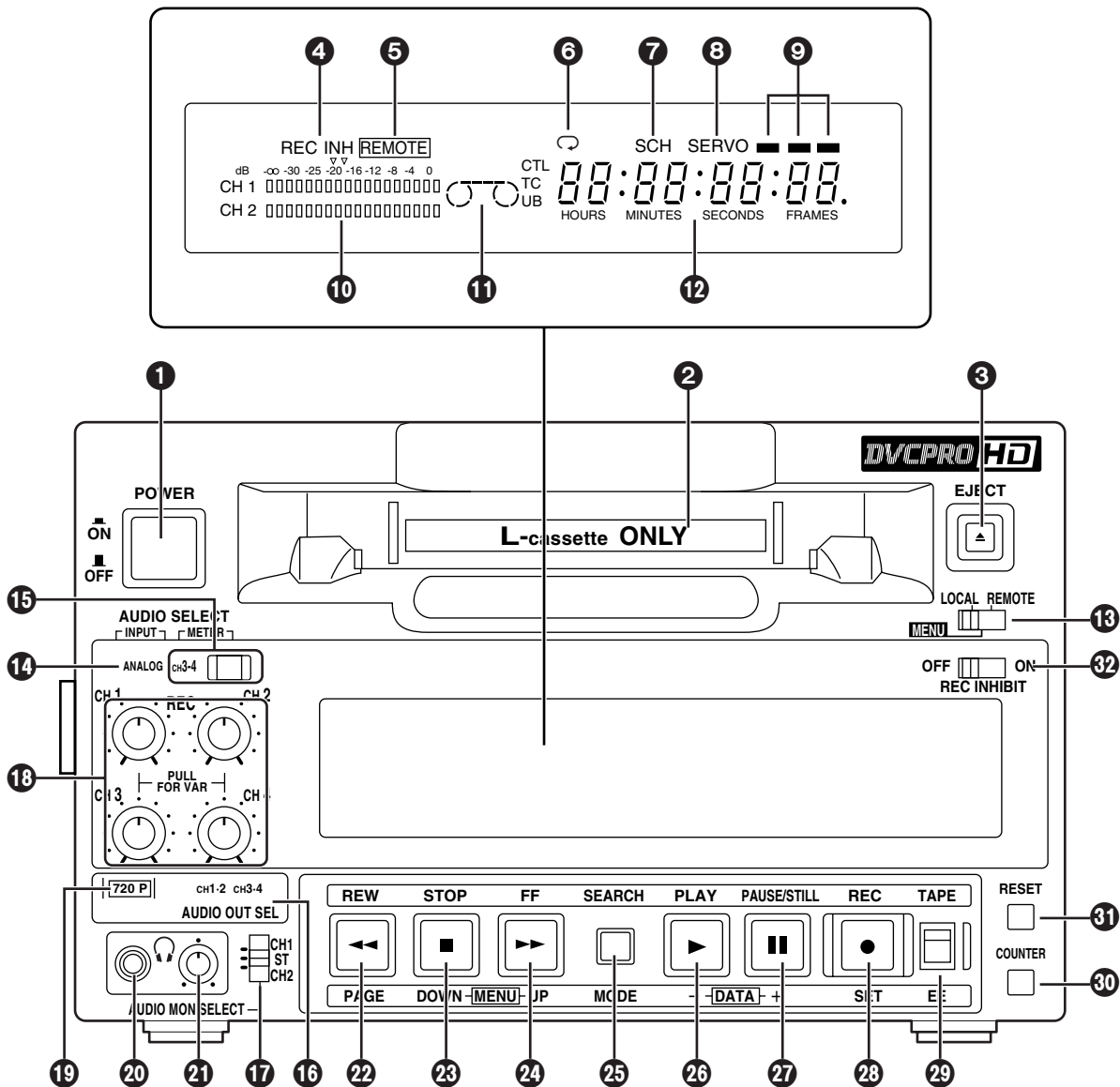
● 9ピンリモート

9ピンのリモートコントロール端子を装備していますので、外部リモートコントローラー(AJ-A95:オプション)からの操作が可能です。

各部の名称と機能






フロントパネル

カウンターディスプレイ部



各部の名称と機能

フロントパネル

- ① POWER スイッチ
- ② カセット挿入口
挿入口のセンターにカセットを合わせ、軽く押してください。カセットテープは自動的にローディングされます。
<ノート>
DVCPRO HD L カセットテープ以外は、挿入しないでください。
- ③ EJECT ボタン
押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。
カウンター表示部が CTL 表示のときは、表示がリセットされます。
- ④ REC/REC INH ランプ
REC : 録画中に点灯します。
REC INH : カセット誤消去防止状態になっているときに点灯します。
また、REC INHIBIT スイッチ ⑫ が ON のときに点灯します。
このとき、記録はできません。
- ⑤ REMOTE ランプ
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ ⑬ で、REMOTE を選択したときに点灯します。
- ⑥ REPEAT ランプ
リピート再生時に点灯します。
<ノート>
セットアップメニュー No.161 BGN PRESET や No.162 END PRESET で設定したカウンター表示モードと、リピート再生を行うカウンター表示モードが異なる場合は、点滅してリピート再生を行いません。
- ⑦ SCH ランプ
HD/SD REF VIDEO IN 端子に SD 信号を入力したとき、信号のサブキャリア位相が、一定の範囲内にあるときに点灯します。
- ⑧ SERVO ランプ
ドラムサーボおよびキャブスタンサーボがロックすると、点灯します。
- ⑨ チャンネルコンディション・ランプ
エラーレートの状態に応じて、点灯します。
(緑 ▶ 青 ▶ 赤)
緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好なときに点灯します。
青 : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化したときに点灯します。このランプが点灯しても、再生画は正常です。
赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に、修正/補間がかかったときに点灯します。
- ⑩ レベルメーター
オーディオ信号の各レベルを表示します。
オーディオ信号は、記録時および E-E 選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
- ⑪ カセット挿入/テープ走行表示ランプ
本機にカセットが挿入されているときに、このランプが点灯します。
 : テープ挿入・STANDBY ON 時
 : テープ挿入・STANDBY OFF (HALF LOADING) 時
 : テープ走行時、セグメント表示がテープ走行に合わせて移動します。
 : ファンが停止したとき、停止した側の  が点滅します。
- ⑫ カウンター表示部
TC や CTL のカウント値、UB、テープ残量やテープ総量、また、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。
DC 電源使用時は、電圧が低下した場合に、ワーニングとして点滅します。
約 10.6V まで低下すると、自動的に電源が OFF になります。
CTL/TC/UB ランプ
再生中に TC や UB の情報が読めないときに点滅します。
正常に情報が読めているときは、点灯します。

各部の名称と機能

フロントパネル

13 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチ

メニュー設定もしくは、外部から本機をコントロールするときに切り替えます。

LOCAL : 本機の操作パネルで本機をコントロールするとき。

MENU : オンスクリーンメニューを設定するとき。

REMOTE : 外部リモートコントローラー (AJ-A95) で本機をコントロールするとき。

14 ANALOG ランプ

セットアップメニュー No.700 で、オーディオ入力信号に ANALOG が選択されているときに点灯します。

< ノート >

アナログ信号入力時の各入力チャンネルは、テープ上の下記の音声トラックに記録されます。

CH1 入力 ➔ CH1 と CH5 トラック

CH2 入力 ➔ CH2 と CH6 トラック

CH3 入力 ➔ CH3 と CH7 トラック

CH4 入力 ➔ CH4 と CH8 トラック

15 METER ボタンとランプ (CH3・4)

METER ボタンを押す毎に、レベルメーターへの表示を CH1/CH2 のレベル表示と CH3/CH4 のレベル表示に切り替えます。

CH1/CH2 のレベル表示のときは、CH3・4 ランプは消灯します。

< ノート >

セットアップメニュー No.780 で、アナログオーディオ出力端子を LINE に選択しているとき、METER ボタンが有効になります。

16 オーディオ出力ランプ (CH1・2/CH3・4)

出力されているオーディオチャンネルを、ランプで表示します。

17 オーディオモニター切り替えスイッチ

オーディオモニター出力とヘッドホン出力のチャンネルを選択します。

参考：セットアップメニューとフロントパネルスイッチによるオーディオ出力の組み合わせ

セットアップメニュー			フロントパネル				リアパネル AUDIO OUT 端子						
No.780 AUD OUT SEL	No.770 MONITOR MIX	No.771 H.PHONE MIX	オーディオモニター 切り替えスイッチ 17	オーディオ 出力ランプ 16	METER ランプ 15	ヘッドホン 出力	CH1	CH2	CH3/L	CH4/R			
LINE	---	---	CH1	CH1・2 CH3・4	消灯	L=R (CH1)	CH1	CH2	CH3	CH4			
					CH3・4	L=R (CH3)							
			消灯		L=CH1/R=CH2								
			CH3・4		L=CH3/R=CH4								
		STEREO	ST		消灯	L=R (CH1+2)							
					CH3・4	L=R (CH3+4)							
			CH1+2		消灯	L=R (CH2)							
					CH3・4	L=R (CH4)							
CH1/2	---	---	CH1	CH1・2	消灯	L=R (CH1)	CH1	CH2	L=CH1	R=CH1			
						L=CH1/R=CH2			L=CH1	R=CH2			
			L=R (CH1+2)			L=CH1+2			R=CH1+2				
			L=CH1/R=CH2			L=CH2			R=CH2				
		STEREO	ST			---			CH2	L=R (CH2)	L=CH2	R=CH2	
						CH1+2			L=R (CH1+2)	L=CH3	R=CH3		
			CH1+2			---			CH1	L=R (CH3)	L=CH3/R=CH4	L=CH3	R=CH4
						STEREO			CH1+2	L=R (CH3+4)	L=CH3/R=CH4	L=CH3+4	R=CH3+4
CH3/4	---	---	CH1	CH3・4	CH3・4	L=R (CH3)	CH3	CH4	L=CH3	R=CH3			
						L=CH3/R=CH4			L=CH3	R=CH4			
			L=R (CH3+4)			L=CH3+4			R=CH3+4				
			L=CH3/R=CH4			L=CH4			R=CH4				
		STEREO	ST			---			CH2	L=R (CH4)	L=CH4	R=CH4	
						CH1+2			L=R (CH3+4)	L=CH4	R=CH4		
			CH1+2			---			CH1	L=R (CH4)	L=CH4	R=CH4	
						STEREO			CH1+2	L=R (CH4)	L=CH4	R=CH4	

各部の名称と機能

フロントパネル

- ⑱ アナログオーディオ信号記録レベルの調整ボリューム
アナログオーディオ信号 CH1/CH2/CH3/CH4 の記録レベルを調整します。
PULL FOR VARIABLE 方式で、つまみを引き上げた位置のときに調整できます。つまみを押し下げた位置の場合は、信号レベルが初期値になりません。
<ノート>
HD デジタル・コンポーネント・オーディオ信号のレベルは、調整できません。
- ⑲ 720p ランプ
720p/59.94Hz システムが選択されているときや、再生されているときに点灯します。
- ⑳ ヘッドホンジャック
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ㉑ 音量調整ボリューム
ヘッドホンの音量を調整するボリュームです。
- ㉒ REW ボタン
押すと、テープを巻き戻します。TAPE/EE スイッチ ㉑ が「TAPE」のときには、再生画をモニターすることができます。
サーチモード (サーチスチル/FWD サーチ/FWD サーチスチル/REV サーチスチル) 中に押すと、REV サーチになり、セットアップメニュー No.150 で設定したスピードで巻き戻し再生します。(18 ページ参照)
スローモード (スロースチル/FWD スロー/FWD スロースチル) 中に押すと、REV リニア 0.3 倍速再生になります。(19 ページ参照)
- ㉓ STOP ボタン
押すと、テープ走行が停止し、TAPE/EE スイッチ ㉑ が「TAPE」のときには、静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF (ハーフローディング) モードになります。
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
静止画のとき、モニターにノイズが現れることがあります。異常ではありません。
- ㉔ FF ボタン
押すと、テープを早送りします。TAPE/EE スイッチ ㉑ が「TAPE」のときには、再生画をモニターすることができます。
サーチモード (サーチスチル/REV サーチ/REV サーチスチル/FWD サーチスチル) 中に押すと、FWD サーチになり、セットアップメニュー No.150 で設定したスピードで早送り再生します。(18 ページ参照)
スローモード (スロースチル/REV スロー/REV スロースチル) 中に押すと、FWD リニア 0.3 倍速再生になります。(19 ページ参照)
- ㉕ SEARCH ボタン
押すと、サーチモードあるいは、スローモードになります。(18、19 ページ参照)
- ㉖ PLAY ボタン
押すと、再生が始まります。
REC ボタンと同時に押すと、記録が始まります。
- ㉗ PAUSE/STILL ボタン
記録中に押すと、一時停止します。再度押すと、記録を再開します。
再生中に押すと、静止画になります。再度押すと、再生を再開します。
FWD/REV サーチ中に押すと、一時停止 (FWD/REV サーチスチル) します。再度押すと、FWD/REV サーチを再開します。
FWD/REV スロー中に押すと、一時停止 (FWD/REV スロースチル) します。再度押すと、FWD/REV スローを再開します。
FWD/REV スローは、リニア 0.3 倍速再生です。
一時停止した場合は、モニターにノイズが現れることがあります。異常ではありません。
(19 ページ参照)
- ㉘ REC ボタン
PLAY ボタンと同時に押すと、記録が始まります。
STOP 中や EJECT 中に REC ボタンを押すと、TAPE/EE スイッチが TAPE に設定されていても、入力ビデオ信号やオーディオ信号を確認することができます。
また、タイムコードジェネレーター の値を確認することができます。(REC CHECK モード)
STOP ボタンなど、他の操作ボタンを押すと、REC CHECK モードが解除されます。

フロントパネル

29 TAPE/EE スイッチ

STOP・FF・REW中に出力される信号を選択します。

TAPE：テープから再生される信号を出力します。

EE：映像信号はHD SDI信号を出力し、オーディオ信号は、セットアップメニュー No.700 で選択された信号を出力します。

< ノート >

スイッチを切り替えるときに、画像と音声がかかります。

30 COUNTER ボタン

カウンター表示部の切り替えを行います。

押すごとに「CTL ▶ TC ▶ UB ▶ r ▶ CTL...」と切り替わります。

CTL：テープタイマー (コントロール信号) を表示します。

TC：タイムコードを表示します。

UB：ユーザズピットを表示します。

r：テープ残量とテープ総量を分単位で表示します。

(例) [r30 - 46]：

テープ残量：30分、テープ総量：46分

31 RESET ボタン

CTLモード時に押すと、カウンターの表示が0 (リセット) になります。

32 REC INHIIBIT スイッチ

カセットテープへの記録禁止と許可を選択します

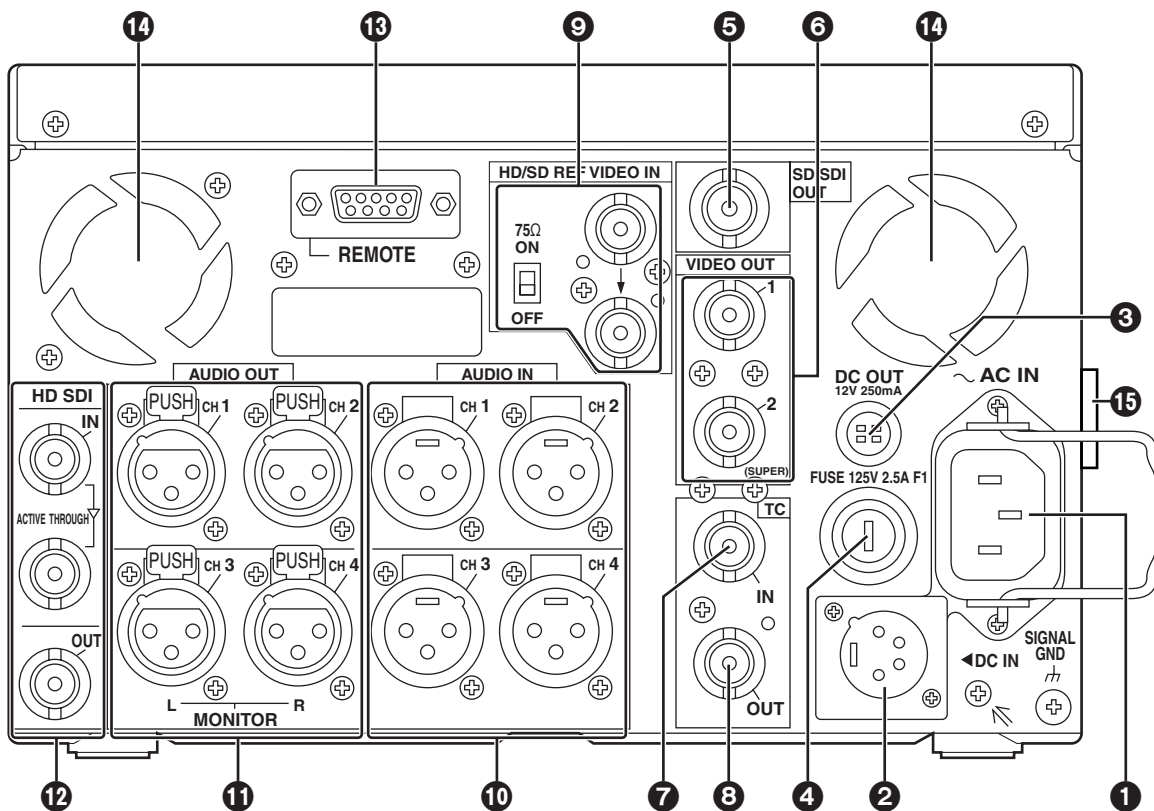
ON：カセットテープへの記録を禁止します。

ディスプレイのREC INHIBITランプが点灯します。

OFF：カセットテープの誤消去防止機構が記録可能なときに、カセットテープへの記録が可能です。

各部の名称と機能

リアパネル

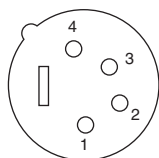


① AC IN コネクター

AC電源のインレットです。
 付属の電源コードを接続します。
 AC電源とDC電源の両方が接続されている場合、
 AC電源が優先されます。

② DC IN 端子

DC 12 V 電源の入力端子です。
 オプションの AC アダプター (AJ-B75、AJ-B95)
 をご使用ください。
 電圧が約 10.6V まで低下した場合、本機の電源は
 自動的に OFF になります。再度、電源電圧が回復
 しても、復帰に時間がかかることがあります。
 AC電源とDC電源の両方が接続されている場合、
 AC電源が優先されます。



ピン No.	信号内容
1	Ground
2	---
3	---
4	+ 12 V

③ DC OUT 端子

DC 12 V の出力端子です。
 外部リモートコントローラー (AJ-A95) に電源を
 供給します。
 DC電源ケーブルは、AJ-A95 に同梱されています。



ピン No.	信号内容
1	Ground
2	---
3	---
4	+ 12 V

④ ヒューズホルダー

2.5 A のヒューズが入っています。

⑤ SD SDI OUT 端子

SMPTE259M-C/272M-A 規格に準拠した、デ
 ジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号
 のダウンコンバート出力端子です。

各部の名称と機能

リアパネル

⑥ VIDEO OUT (1/2) 端子

アナログコンポジットビデオ信号のダウンコンバート出力端子です。

VIDEO OUT2の端子は、スーパーを埋め込んだビデオ信号が出力できます。

スーパーの埋め込みは、セットアップメニュー No.005 で切り替えます。

⑦ TC IN 端子

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

⑧ TC OUT 端子

再生時は、再生タイムコードを出力します。

記録時は、内部タイムコード・ジェネレーターの発生するタイムコードを出力します。

⑨ HD/SD REF VIDEO IN 端子と 75 終端スイッチ

HD/SD リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。

終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

< ノート >

- HD リファレンスとして使用する場合は、正負両極性の 3 値同期信号を入力してください。

また、入力信号やテープフォーマットに合った信号を入力してください。

- SD リファレンスとして使用する場合は、RS-170A に準拠したコンポジットビデオ信号、または、ブラックバースト信号を入力してください。

⑩ AUDIO IN 端子 (CH1/CH2/CH3/CH4)

アナログオーディオ信号の入力端子です。

⑪ AUDIO OUT/MONITOR 端子

(CH1/CH2/CH3/CH4)

アナログオーディオ信号の出力端子です。

CH3 と CH4 は、オーディオモニター出力端子 (Lch/Rch) も兼用しています。

(11 ページ参照)

⑫ HD SDI IN/OUT 端子

SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。

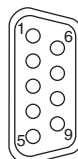
⑬ REMOTE CONTROL 端子

外部リモートコントローラ (AJ-A95 : オプション) を接続して、外部から本機を操作することができます。

< ノート >

- LOCAL/MENU/REMOTE スイッチは、REMOTE の位置にしてください。

- RS-422A インターフェース準拠ですが、編集関係の機能は動作しません。



ピン No.	信号内容
1	Frame Ground
2	Transmit A
3	Receive B
4	Receive Common
5	—————
6	Transmit Common
7	Transmit B
8	Receive A
9	Frame Ground

⑭ ファンモーター

本機の冷却用のファンモーターです。

⑮ 把手

把手は側面に付いていますが、本機を動作させるときは、本機を水平に設置してください。

操作方法

電源投入/カセット挿入

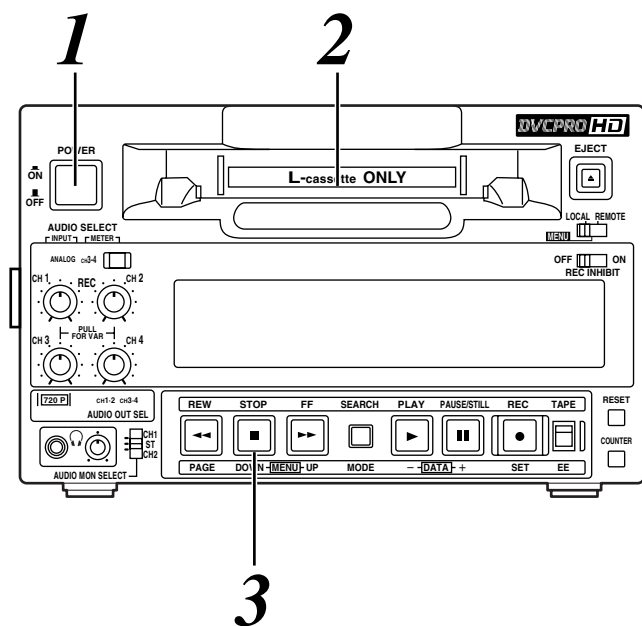
操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

また、本機は必ず水平に設置して操作を行ってください。

1 電源を入れます。

2 カセットテープを挿入します。
カセットテープは、無理なく正規の位置に挿入してください。

3 STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。



< ノート >

セットアップメニュー No.104 がON に設定されている場合、リファレンスビデオ入力が無いとSTOPボタンが点滅します。

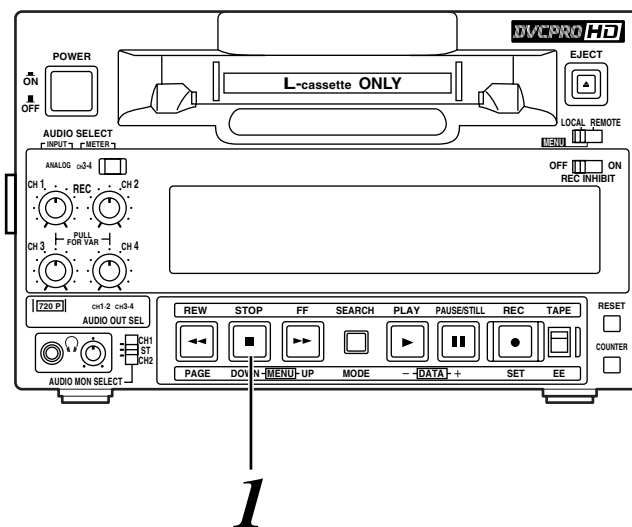
STOPモード

1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。

- テープ保護のため、セットアップメニュー No.400 STILL TIMER で設定した時間が経過すると、テープ保護モードになります。
STOP・REW・FF・PLAYの各ボタンを押すと、それぞれのモードになります。

< STILL TIMER 設定のご注意 >

- 繰り返し、同じテープの同じ箇所を使用するときなどには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。テープ保護のため、同一箇所での待機時間は、できる限り短くご使用ください。



操作方法

記 録

1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。

2 STOP ボタンを押して、本機を STOP モードにします。

3 1. 入力オーディオ信号の選択
1) 記録する信号を接続します。
2) セットアップメニュー No.700 で、オーディオの入力信号を選択します。
<ノート>
ビデオ入力信号は、HD SDI 入力だけです。

2. アナログオーディオレベル調整
● オーディオ入力信号にアナログオーディオを選択した場合の、オーディオ入力信号レベルを調整します。
オーディオ信号は、オーディオ記録レベルの調整ボリュームを押し込んだ状態で、適正なレベルで記録されます。
<ノート>
オーディオ入力信号に HD SDI を選択したときは、レベル調整ができません。

4 REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。
REC と PLAY ランプが点灯し、記録が始まります。
セットアップメニュー No.154 AUTO BACK が「ALL」のとき、REC ボタンと PLAY ボタンを押した位置より数秒間テープが巻き戻された後、助走を行い、REC ボタンと PLAY ボタンを押した位置から記録を開始しますので、乱れなく映像をつなぎ撮りすることができます。

5 記録を終了するときは、STOP ボタンを押します。
記録が終了し、停止モードになります。

<ノート>

記録中は、SERVO ランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。

一時停止/記録(つなぎ撮り)

1 カセットテープを再生中に、PAUSE/STILL ボタンを押します。

2 REC ボタンを押し、REC PAUSE モードにします。
このとき、E-E 画面にモニター表示が切り替わります。
セットアップメニュー No.154 AUTO BACK が「REC-P」または「ALL」のとき、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より、数秒間テープが巻き戻されます。

3 PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を始めます。
1 で PAUSE/STILL ボタンを押した位置までテープが走行し、記録を開始します。
<ノート>
このとき、E-E 画面が表示されます。

4 再度 PAUSE/STILL ボタンを押し、記録を一時停止します。
セットアップメニュー No.154 AUTO BACK が「REC-P」または「ALL」のときは、PAUSE/STILL ボタンを押した位置より数秒間テープが巻き戻されてから、一時停止します。

5 **3** と **4** を繰り返し行うことにより、つなぎ撮りを行うことができます。

操作方法

再生

1 カセットテープを挿入します。

2 PLAY ボタンを押します。
通常の再生が開始されます。

3 再生を終了するときは、STOP ボタンを押します。
VTR は、STOP モードになります。

< ノート >

- 再生中は、SERVO ランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。
- 再生の立ち上がり時は、画像が一瞬乱れます。

早送り再生/巻き戻し再生

サーチモード (サーチスチル/FWDサーチ/REVサーチ/FWDサーチスチル/REVサーチスチル) 中に FF ボタンまたは REW ボタンを押すと、セットアップメニュー No.150 で設定したスピードで、早送り再生または巻き戻し再生します。

また、FF モード中または REW モード中に SEARCH ボタンを押すと、セットアップメニュー No.150 で設定したスピードまで減速し、早送り再生または巻き戻し再生します。

早送り再生中、または、巻き戻し再生中に PAUSE/STILL ボタンを押すと、一時停止します。再度押すと、早送り再生または巻き戻し再生を再開します。

VTRの動作状態	操作するボタン	VTR動作の移行
PLAY または STOP	SEARCH	サーチスチル
	FF または REW	FF または REW
FF	PLAY または STOP	PLAY または STOP
	SEARCH	FWD サーチ (早送り再生)
REW	PLAY または STOP	PLAY または STOP
	SEARCH	REV サーチ (巻き戻し再生)
サーチスチル	PLAY または STOP	PLAY または STOP
	FF	FWD サーチ (早送り再生)
	REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
FWD サーチ (早送り再生)	SEARCH	FF
	REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
	PAUSE/STILL	FWD サーチスチル
REV サーチ (巻き戻し再生)	SEARCH	REW
	FF	FWD サーチ (早送り再生)
	PAUSE/STILL	REV サーチスチル
FWD サーチスチル	PAUSE/STILL または SEARCH または FF	FWD サーチ (早送り再生)
	REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
REV サーチスチル	PAUSE/STILL または SEARCH または REW	REV サーチ (巻き戻し再生)
	FF	FWD サーチ (早送り再生)
任意の状態	PLAY	PLAY
	STOP	STOP

静止画再生

再生中に PAUSE/STILL ボタンを押します。
もう一度 PAUSE/STILL ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

< ノート >

- 静止画再生中には、音声は聞こえません。
- 静止画には、ノイズが現れることがあります。

操作方法

リニア 0.3 倍速再生

静止画再生 (PLAY PAUSE) 中に SEARCH ボタンを押すと、スロースチルモードになります。

この状態で、FF ボタンまたはREW ボタンを押すと、リニア 0.3 倍速再生をします。

リニア 0.3 倍速再生中に PAUSE/STILL ボタンを押すと、一時停止します。

再度 PAUSE/STILL ボタンを押すと、リニア 0.3 倍速再生を再開します。

可変速再生 (AJ-A95 接続時)

REMOTE 端子に AJ-A95 (オプション) を接続すると、AJ-A95 のサーチダイヤル操作により、可変速再生することができます。

< ノート >

- 1 倍速以外の再生速度では、画面にノイズが現れることがあります。
- 可変速再生時は、アナログ CUE トラックに記録されている音声を再生します。

VTR の動作状態	操作するボタン	VTR 動作の移行
PLAY	PAUSE/STILL	PLAY PAUSE
PLAY PAUSE	PAUSE/STILL または PLAY	PLAY
	SEARCH	スロースチル
スロースチル	PLAY	PLAY
	FF	FWD スロー
	REW	REV スロー
FWD スロー	REW	REV スロー
	SEARCH または PAUSE/STILL	FWD スロースチル
REV スロー	FF	FWD スロー
	SEARCH または PAUSE/STILL	REV スロースチル
FWD スロースチル	PAUSE/STILL または SEARCH または FF	FWD スロー
	REW	REV スロー
REV スロースチル	PAUSE/STILL または SEARCH または REW	REV スロー
	FF	FWD スロー
任意の状態	PLAY	PLAY
	STOP	STOP
任意の状態	STOP FF	FF
	STOP REW	REW

操作方法

リピート再生

BEGIN 点、END 点の設定

1 VTR をメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)

2 セットアップメニュー No.161 BGN PRESET または、No.162 END PRESET を選択し、DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または DATA - ボタン (PLAY ボタン) を押します。
<ノート>
DATA + ボタン、DATA - ボタンを操作すると、設定と未設定の選択ができます。
未設定時の表示は、- - : - - : - - : - - となります。この状態でリピート再生を行うと、BEGIN 点がテープの始端に、END 点がテープの終端になります。

3 COUNTER ボタンで、TC、CTL のいずれかを選択します。
<ノート>
RESET ボタンを押すと、00 : 00 : 00 : 00 にリセットされます。

4 UP ボタン (FF ボタン)、DOWN ボタン (STOP ボタン) で、変更桁 (点滅表示) を選択します。
但し、フレームの桁は選択できません。常時、「00」が表示されます。

5 DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン)、DATA - ボタン (PLAY ボタン) で値が変わります。

6 設定終了後は、SET ボタン (REC ボタン) を押します。
設定値が記憶されます。
<ノート>
設定終了後、SET ボタンを押さずに MODE ボタン (SEARCH ボタン) を押すと、設定値は記憶されずに設定前の状態に戻ります。

7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを、「LOCAL」もしくは、「REMOTE」の位置にします。

リピート再生モードの設定

1 VTR をメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)

2 セットアップメニュー No.160 MEMORY MODE を選択し、リピート再生モードを選択します。

設定内容	動作
OFF	通常動作
M-STOP	早送りや巻戻しを行うと、BEGIN 点付近で停止します。
REPT1	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して停止します。
CONT	END 点まで再生すると、BEGIN 点までテープを巻戻して再生することを繰り返します。

3 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを、「LOCAL」もしくは、「REMOTE」の位置にします。

<ノート>

- 同じテープで何回もリピート再生を行うと画像が悪くなりますので、約 100 回を目安に新しいテープと交換してください。
- リピート再生モードで BEGIN 点に戻るときの出力映像は、セットアップメニュー No.163 REPT MODE で設定できます。
REPT MODE の設定を「FREEZE」にした場合、END 点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲で END 点を設定してください。
- セットアップメニュー No.161 BGN PRESET や No.162 END PRESET で設定したときのカウンター表示モード (TC/CTL) と、リピート再生を行うカウンター表示モード (TC/CTL) が異なるときは、REPEAT ランプが点滅し、リピート再生動作を行いません。

タイムコード/ユーザーズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター (タイムコード信号発生器) によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー (タイムコード信号読取器) でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレームの単位で表示するときに表示します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域 (データ領域) へ書き込まれます。

このためにVTRの再生速度が、停止モード スロー再生 高速再生まで読み取ることができます。

タイムコード値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちユーザーに開放された32ビット (8桁) の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。

ユーザーズビットに使用できる数字 (文字) は、0 ~ 9とA B C D E Fです。

タイムコードの設定

- 1 VTRをメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをMENUの位置にします。)
- 2 セットアップメニュー No.520 TC MODE SWを「INT」に設定します。
- 3 セットアップメニュー No.530 TC PRESETを選択します
- 4 DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または、DATA - ボタン (PLAY ボタン) を押すと、1桁目の値が点滅します。
- 5 MENU UP ボタン (FF ボタン) または、MENU DOWN ボタン (STOP ボタン) を押すと、変更する桁が移動し点滅します。
- 6 DATA + ボタン (PAUSE/STILL ボタン) または、DATA - ボタン (PLAY ボタン) で値を変更します。
- 7 設定終了後は、SET ボタン (REC ボタン) を押します。
(通常メニュー画面に戻ります。)
- 8 LOCAL/MENU/REMOTEスイッチをLOCALまたは、REMOTEの位置にします。

< ノート >

- 初期値は、タイムコードジェネレーターの現在値が表示されます。
- 「TC PRESET」設定時 (数字が点滅している状態) にRESETボタンを押すと、00000000にリセットされます。
- セットアップメニュー No.503 REGENとNo.505 TCG REGENの組み合わせで「REGEN」に設定されているとタイムコードの設定ができません。
- 設定終了後、SETボタンを押さずにMODEボタン (SERACHボタン) を押すと、タイムコードの設定値はキャンセルされて、通常メニュー画面に戻ります。

タイムコード/ユーザーズビットについて

ユーザーズビットの設定

1 VTR をメニューモードにします。
(LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。)

2 セットアップメニュー No.531 UB PRESET を選択します。

以下、タイムコードの設定方法と同じです。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

1 STOP モードにします。

2 COUNTER ボタンで、「TC」または「UB」にします。

TC : タイムコードが表示されます。

UB : ユーザーズビットが表示されます。

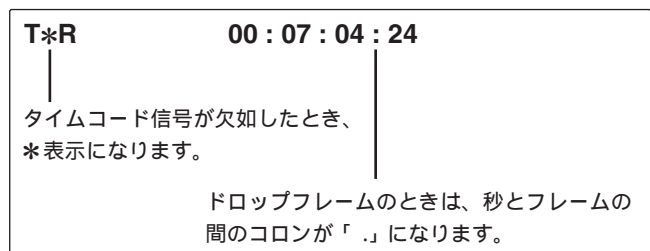
- タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTL で補間します。

3 PLAY ボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
セットアップメニュー No.005 が「ON」に設定されている場合、VIDEO OUT2 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

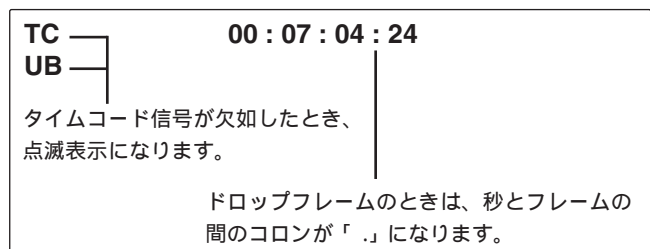
< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいるときは、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときには、CTL 信号で自動的に補います。
ディスプレイは、以下のようになります。

スーパー表示



カウンターディスプレイ



セットアップ (初期設定)

本機的主要な設定は、本機に接続されたビデオモニターに表示される、オンスクリーンメニューで設定・確認することができます。

また、フロントパネルのディスプレイ部に表示される、項目番号と設定番号で設定・確認することもできます。

さらに、ユーザー設定メモリーを1セット用意していますので、あらかじめ好みの設定をメモリーして使用することが可能です。

オンスクリーンメニューでの設定方法

- 1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

SET-UP MENU	MAIN
	NO.00
* 00 SYSTEM	
000 BASIC	
100 OPERATION	
200 INTERFACE	
400 TAPE PROTECT	
500 TIME CODE	
600 VIDEO	
700 AUDIO	
A00 MENU	

メニュー設定モード時は、操作ボタンの“REW, STOP, FF, SEARCH, PLAY, PAUSE/STILL, REC”は、それぞれ“PAGE, MENU-DOWN, MENU-UP, MODE, DATA -, DATA +, SET”として動作します。

- 2 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (*) を変更したいメニューに移動します。
- 3 MODE ボタンを押し、各項目の設定を行います。メニュー画面に戻るときは、PAGE ボタンを押しながら MODE ボタンを押します。

- 4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソル (*) を変更したい項目に移動します。

また、PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押すと、ページを UP/DOWN することができます。

- 5 DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押し、設定値を変更します。

- 6 SET ボタンを押し、設定値を確定します。

複数の項目を変更する場合は、4・5・6 の操作を繰り返し行います。

<ノート>

MODE ボタンを押すことにより、設定値をキャンセルすることができます。

設定値を確定せずに他の項目を変更する場合は、MODE ボタンを押し、その後4・5・6 の操作を行ってください。

- 7 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

工場出荷時の設定値への戻し方

- 1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。
- 2 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

SELECT MODE
* 0 ESCAPE
1 LOAD
2 SAVE
3 PROTECT

セットアップ (初期設定)

- 3** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置して、SET ボタンを押します。
本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU    <LOAD>
                * NO
                FACTORY
                USER (ALL)
                USER (NOT SYSTEM)
```

- 4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを FACTORY に移動して、SET ボタンを押します。
- カーソルを FACTORY に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外が工場出荷時の設定値に戻ります。
 - カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、工場出荷時の設定値に戻らずにメニュー画面に戻ります。

- 5** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

ユーザーデフォルトの設定方法

- 1** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

- 2** 「オンスクリーンメニューでの設定方法」2 ~ 6 の操作を行い希望の設定値に変更します。

- 3** RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
            * 0 ESCAPE
              1 LOAD
              2 SAVE
              3 PROTECT
```

- 4** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを SAVE の位置して、SET ボタンを押します。
本機は SAVE モードになり、SAVE 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU    <SAVE>
                * NO
                USER (ALL)
                USER (NOT SYSTEM)
```

- 5** MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押します。
- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外の設定値が更新されます。
 - カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、更新されないままメニュー画面に戻ります。

- 6** SAVE を確認する画面が表示されるので、MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置して、SET ボタンを押します。
設定値がメモリーされます。

```
SAVE OK?
          * NO
           YES
```

- 7** LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

セットアップ (初期設定)

ユーザーデフォルトのロード方法

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
* 0 ESCAPE
  1 LOAD
  2 SAVE
  3 PROTECT
```

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを LOAD の位置にして、SET ボタンを押します。
本機は LOAD モードになり、LOAD 画面がビデオモニターに表示されます。

```
SET-UP MENU <LOAD>
* NO
  FACTORY
  USER (ALL)
  USER (NOT SYSTEM)
```

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを USER (ALL) に移動して、SET ボタンを押します。

- カーソルを USER (NOT SYSTEM) に移動してこの操作を行った場合は、SYSTEM メニュー以外がメモリーされているユーザー設定値で動作します。
- カーソルを NO に移動してこの操作を行った場合は、メモリーされているユーザー設定値に変更されないままメニュー画面に戻ります。

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
メニュー設定が終了します。

メニュープロテクトの方法

本機をメニュープロテクトモードにすることにより、フロントパネルの LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にしても、セットアップメニューを開かなくすることができます。

1 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機はメニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 RESET ボタンを押します。
本機はデフォルト設定モードになり、デフォルト設定画面がビデオモニターに表示されます。

```
SELECT MODE
* 0 ESCAPE
  1 LOAD
  2 SAVE
  3 PROTECT
```

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを PROTECT の位置にして、SET ボタンを押します。
本機はメニュープロテクト設定モードになり、メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

```
MENU PROTECT OK?
* NO
  YES
```

4 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを YES の位置に移動して、SET ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

セットアップ (初期設定)

5 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
本機がメニュープロテクトモードに設定されます。
LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードにならず、ビデオモニターの画面に「MENU PROTECTED」と表示されます。

< ノート >

メニュープロテクトモード設定中に、フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にすると、メニュー設定モードになり、通常のメニュー設定ができます。
「オンスクリーンメニューでの設定方法」の 2 ~ 7 を実施してください。

メニュープロテクトの解除方法

1 フロントパネルの COUNTER ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
メニュー設定モードになり、ビデオモニターにメニュー画面が表示されます。

2 前記「メニュープロテクトの方法」の 2・3 を実施します。
メニュープロテクトを確認する画面がビデオモニターに表示されます。

```
MENU PROTECT OK?  
* NO  
YES
```

3 MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押し、カーソルを NO の位置に移動して、SET ボタンを押します。
メニュープロテクトが解除されます。

DIAG メニューの表示方法

本機には、「HOUR メーター」「ソフトウェアのバージョン」「デッキのシリアル No.」をビデオモニターに表示させる機能があります。

1 EJECT ボタンを押しながら、LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを MENU の位置にします。
本機は DIAG 表示モードになり、ビデオモニターに HOUR メーターとデッキのシリアル No. が表示されます。

DIAG-MENU	HOURS METER
Ser *****	
H00 OPERATION	00000H
H01 DRUM RUN	00000H
H02 TAPE RUN	00000H
H03 THREADING	00000T
H11 DRUM RUN r	00000H
H12 TAPE RUN r	00000H
H13 THREADING r	00000T
END	

「r」が付いている項目は、サービス時にリセットできる項目です。

2 HOUR メーターが表示されている状態で、PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンを押します。
ソフトウェアのバージョンが、ビデオモニターに表示されます。

DIAG-MENU	VERSION
<NTSC>	
FRONT	1.**-**
IF	1.**-**-**
AV-SYSCON	1.**-**-**
SERVO	1.**-**-**
END	

再度 PAGE ボタンを押しながら MENU-UP ボタンまたは、MENU-DOWN ボタンをすと HOUR メーター表示に戻ります。

3 LOCAL/MENU/REMOTE スイッチを LOCAL または、REMOTE の位置にします。
通常のモードに戻ります。

セットアップメニュー

SYSTEM

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
12	SYS H (HD)	0550 : 1100 : 1650	- 550 : 0 : 550	HD SDI出力のシステム位相調整 : (27ns ステップ) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。
14	SYS SC (SD)	0000 : 0108 : 0216	- 108 : 0 : 108	VIDEO 出力および SD SDI 出力のシステム位相調整 : (トータル可変範囲 ± 180 ° 以上) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。
15	SYS H (SD)	0000 : 0429 : 0858	- 429 : 0 : 429	VIDEO 出力および SD SDI 出力のシステム位相調整 : (74ns ステップ) - : 位相が進みます。 + : 位相が遅れます。 < ノート > 調整値の変更中は、出力音声ミュートされますが、異常ではありません。調整が終了すると、音声出力されます。
18	SCH COAR (SD)	0000 0001 0002 0003	0 90 180 270	VIDEO 出力の SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相調整 (90 ° 毎の 4 ポジション) SC 位相が変化し、H 位相は変化しません。
19	SCH FINE (SD)	0000 : 0032 : 0064	- 32 : 0 : 32	VIDEO 出力の SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相調整 : (可変範囲 ± 45 ° 以上) SC 位相が変化し、H 位相は変化しません。 No.18 SCH COAR (SD) と合わせて ± 180 ° をカバーします。
20	AV PHASE	0000 : 0100 : 0200	- 100 : 0 : 100	VIDEO 出力に対しての、AUDIO 出力の位相を調整します。 : (20.8 μ s ステップ) - : 映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。 + : 映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。

_____ は、工場出荷モードです。

< ノート >

項目 No.12 ~ 20 は、初期化操作を行っても初期化されません。

セットアップメニュー

BASIC

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
001	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/MENU/LOCAL スイッチが「REMOTE」のときに、フロントパネルで操作可能なボタンを設定します。 0：全ての操作が不可。 1：STOP と EJECT のみが操作可能。 2：COUNTER と RESET 以外、全ての操作が可能。
002	TAPE TIMER	0000 0001	± 12h 24h	CTL カウンター表示の時間表示を設定します。 0：12 時間表示 1：24 時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001 0002 0003	OFF 2L 1L R/TTL	VIDEO OUT2 端子へのテープ残量時間やテープ総量のスーパー表示を設定します。 0：表示しない。 1：2 行目にテープ残量時間を表示する。 2：1 行目にテープ残量時間を表示する。 3：1 行目にテープ残量時間、2 行目にテープ総量を表示する。 < ノート > ● 2L に設定したとき、メニュー No.006 DISPLAY SEL で TIME が設定されていると表示しません。 ● R/TTL に設定したとき、メニュー No.006 DISPLAY SEL で TIME が設定されているとテープ総量を表示しません。
005	SUPER	0000 0001	OFF ON	VIDEO OUT2 端子へのスーパー表示を設定します。 0：表示しない。 1：表示する。
006	DISPLAY SEL	0000 0001 0002	TIME T&STA T&S&M	VIDEO OUT2 端子へのスーパー表示内容を設定します。 0：時間のみ表示する。 1：時間と動作状態を表示する。 2：時間・動作状態・モードを表示する。 < ノート > T&S&M に設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージをスーパー表示します。
007	CHARA H-POS	0000 : 0006 : 0037	0 : 6 : 37	スーパー表示の水平方向文字位置を設定します。
008	CHARA V-POS	0000 : 0023 : 0032	0 : 23 : 32	スーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。

_____ は、工場出荷モードです。

< ノート >

- メニュー No.007 CHARA H-POS と No.008 CHARA V-POS の設定時、PAGE ボタンと DATA + ボタンまたは、DATA - ボタンを押すと、押している間一時的にカウンター表示となり、設定を確認することができます。
PAGE ボタンを押している間も、DATA + ボタン、DATA - ボタンにより、実際の状態を確認しながら設定することもできます。
- メニュー No.005 SUPER で OFF に設定されていても、メニュー設定中は、メニュー No.006 DISPLAY SEL の設定内容でスーパーが表示されます。メニュー設定を抜けると、メニュー No.005 SUPER の設定に従って表示します。

セットアップメニュー

BASIC

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
009	CHARA TYPE	<u>0000</u> 0001	<u>WHITE</u> W/OUT	スーパー表示やメニューの表示タイプを設定します。 0 : 白文字で、背景は黒のベタ塗りで表示する。 1 : 白文字で、黒の縁取りで表示する。
020	SYS FORMAT	<u>0000</u> 0001	<u>1080i</u> 720p	HD REF 信号を含めた記録・再生フォーマットを設定します。 0 : 1080i モード 1 : 720p モード
022	PB FORMAT	<u>0000</u> 0001	<u>MANUAL</u> AUTO	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0 : メニュー No.020 SYS FORMAT の設定に従う。 1 : テープに記録されているフォーマットに従う。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

OPERATION

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
101	SHTL MAX	0000 0001	X8.4 X16	9ピンリモート端子に接続された外部コントローラーを使用するときの、シャトルモードの最高速度を設定します。 0 : 8.4 倍速 1 : 16 倍速
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ON	REF VIDEO が接続されていないときの警告表示を設定します。 1 : 警告表示しない。 2 : STOP ランプを点滅させることで警告表示する。
106	EJECT EE SEL	0000 0001	EE BLACK	EJECT 時の映像や音声の出力状態を設定します。 0 : TAPE/EE スイッチの位置に関係なく、常に E-E モード (Electric modulation to Electric play back) で出力する。 1 : TAPE/EE スイッチの位置により、出力状態が変わる。 EE : E-E モードで出力する。 TAPE : 映像系は BLACK 出力、音声系はミュート出力になる。
110	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	テープ終端を検知したときに、テープ始端まで自動的に巻き戻す動作を設定します。 0 : テープを巻き戻さない。 1 : テープを始端まで巻き戻す。
112	FRZ MODE SEL	0000 0001	DIS STBOFF	再生画像から STANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行したときの映像出力を設定します。 0 : 映像出力をミュートする。 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING) 時、その時点での再生映像をフリーズして出力する。
114	REC INH LAMP	0000 0001	LIGHT FLASH	カセットが誤消去防止状態になっているときの、REC INHIBIT LAMP の動作を設定します。 0 : ランプが点灯する。 1 : ランプが点滅する。 <ノート> フロントパネルの REC INHIBIT スイッチが ON に設定されている場合は、本設定に関係なく REC INHIBIT ランプは常に点灯します。
115	EJECT SW INH	0000 0001	REC OFF	フロントパネルの EJECT ボタン操作の制限を設定する。 0 : 記録モード中は禁止する。 1 : 全ての動作モードにおいて操作が可能になる。
117	M CASSTT INH	0000 0001	OFF ON	M カセットテープへの記録の制限を設定する。 0 : M カセットテープへの記録を可能にする。 1 : M カセットテープへの記録を禁止する。
150	SEARCH SPEED	0000 0001	X4.1 X8.4	フロントパネルのサーチボタンを押したときに、減速する速度を設定します。 0 : 4.1 倍速 1 : 8.4 倍速
152	HUMID OPE	0000 0001	OFF ON	結露時の動作を設定します。 0 : 結露時は動作をしない。 1 : 結露時にも動作できるが、正常な動作は保証できない。 <ノート> テープダメージ等が発生する可能性がありますので、通常は「0 : 動作をしない」を設定してください。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

OPERATION

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
154	AUTO BACK	0000 0001	OFF REC-P	つなぎ撮り機能の操作方法を設定します。 (記録映像を乱れなくつなぐためにテープを数秒巻き戻す「AUTO BACK 機能」の動作を設定します。) 0 : AUTO BACK しない。 1 : REC PAUSE 時に AUTO BACK し、記録待機状態で停止する。(PAUSE が解除されるとテープを助走し、記録を開始します。) 2 : 設定 0001 「REC-P」の機能に加えて、REC PLAY 時には AUTO BACK し、すぐにテープを助走して、記録を開始する。
		0002	ALL	
160	MEMORY MODE	0000 0001 0002 0003	OFF M-STOP REPT1 CONT	リピート再生モードを設定します。 0 : リピート再生しない。(通常動作) 1 : FF や REW 動作をしたときに、BEGIN 点付近で停止する。 2 : END 点に達すると BEGIN 点まで REW して停止する。 3 : END 点に達すると BEGIN 点まで REW し、再生することを繰り返す。
161	BGN PRESET (CTL または TC)			リピート再生モードの BEGIN 点を設定します。 COUNTER ボタンでカウンター表示モードを、TC と CTL のいずれかに設定します。 未設定のときは - - : - - : - - : - - となり、テープの始端が BEGIN 点になります。
162	END PRESET (CTL または TC)			リピート再生モードの END 点を設定します。 COUNTER ボタンでカウンター表示モードを、TC と CTL のいずれかに設定します。 未設定のときは - - : - - : - - : - - となり、テープの終端が END 点になります。
163	REPT MODE	0000 0001 0002	FREEZE BLACK SW	リピート再生モードで BEGIN 点に戻るときの出力映像を設定します。 0 : END 点での再生映像をフリーズしたまま BEGIN 点に戻る。 1 : BLACK 画のまま BEGIN 点に戻る。 2 : TAPE/EE スイッチの設定に従い BEGIN 点に戻る。 < ノート > 「0 : FREEZE」にした場合、END 点がテープの終端に設定されていると、正しく再生映像をフリーズしません。映像が記録されている範囲で END 点を設定してください。
180	BATTERY SEL	0000 0001 0002	NiCd12 NiCd13 NiCd14	バッテリーの種類を設定します。 0 : 12V 系バッテリー 1 : 13V 系バッテリー 2 : 14V 系バッテリー

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

INTERFACE

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
202	ID SEL	0000 0001 0002	OTHER DVCPRO ORIG	コントローラーに返信するID情報を設定します。 0 : 20 25Hを返信する。 1 : DVCPRO独自のID (F0 33H) を返信する。 2 : 本機独自のID (A0 51H) を返信する。

_____ は、工場出荷モードです。

TAPE PROTECT

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	0.5S 5S 10S 20S 30S 40S 50S 1min 2min	STOP や STILL の状態で放置されたときの、テープ保護モードになるまでの時間を設定します。 (単位 S : 秒、min : 分)
401	SRC PROTECT	0000 0001	STEP HALF	STILL 状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。 0 : STEP FWD 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING) <ノート> STEP FWD が設定されているときに、STILL の状態で放置された合計時間が 30 分になると、自動的に STANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。
402	DRUM STDBY	0000 0001	OFF ON	STANDBY OFF (HALF LOADING) 時のドラム動作を設定します。 0 : ドラムの回転を停止する。 1 : ドラムの回転を継続する。
403	STOP PROTECT	0000 0001	STEP HALF	STOP 状態で放置されたときの、テープ保護モードの動作を設定します。 0 : STEP FWD 1 : STANDBY OFF (HALF LOADING) <ノート> STEP FWD が設定されているときに、STOP の状態で放置された合計時間が 30 分になると、自動的に STANDBY OFF (HALF LOADING) モードへ移行します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

TIME CODE

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	メニュー No.501 VITC POS-1 と No.502 VITC POS-2 で設定された位置に VITC 信号を出力する設定をします。 0 : 出力しません。 1 : 出力します。 < ノート > 本設定は、SD 出力 (VIDEO 出力と SD SDI 出力) にのみ有効です。
501	VITC POS-1	0000 : 0006 : 0010	10L : 16L : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 < ノート > ●メニュー No.502 VITC POS-2 と同じラインは設定できません。 ●本設定は、SD 出力 (VIDEO 出力と SD SDI 出力) にのみ有効です。
502	VITC POS-2	0000 : 0008 : 0010	10L : 18L : 20L	VITC 信号の挿入位置を設定します。 < ノート > ●メニュー No.501 VITC POS-1 と同じラインは設定できません。 ●本設定は、SD 出力 (VIDEO 出力と SD SDI 出力) にのみ有効です。
503	REGEN	0000 0001	REGEN PRE	内蔵タイムコードジェネレータの同期方法を設定します。 0 : タイムコードリーダーが、テープから読み込んだタイムコードに同期する。 1 : フロントパネルの操作やリモートコントローラでプリセットを可能にする。
504	RUN MODE	0000 0001	REC FREE	内蔵タイムコードジェネレータが歩進する動作モードを設定します。 0 : 記録中のみ歩進する。 1 : 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進する。
505	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG (タイムコードジェネレータ) がリジネモードのときに、リジネする信号を設定します。 0 : タイムコード、ユーザズビット共にリジネする。 1 : タイムコードのみをリジネする。 2 : ユーザズビットのみをリジネする。
507	EXT TC SEL	0000 0001 0002	LTC SLTC SVITC	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します。 0 : TIME CODE IN 端子の LTC を使用します。 1 : シリアル信号に付加されている LTC 情報を使用します。 2 : シリアル信号に付加されている VITC 情報を使用します。
508	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	000 001 010 011 100 101 110 111	TCG で発生するタイムコードのユーザズビットの使用状況を設定します。 0 : NOT SPECIFIED (キャラクタセットを指定しない) 1 : ISO CHARACTER (ISO646、ISO2022 に準拠した 8 ビットキャラクタセット) 2 : UNASSIGNED1 (未定義) 3 : UNASSIGNED2 (未定義) 4 : UNASSIGNED3 (未定義) 5 : PAGE/LINE 6 : UNASSIGNED4 (未定義) 7 : UNASSIGNED5 (未定義)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

TIME CODE

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
509	PHASE CORR	<u>0000</u> 0001	OFF ON	再生時における LTC 出力の位相補正コントロールを設定します。 0 : 位相補正コントロールを行いません。 1 : 位相補正コントロールを行います。
511	DF MODE	<u>0000</u> 0001	DF NDF	CTL および TCG の DF/NDF モードを設定します。 0 : ドロップフレームモードを使用する。 1 : ノンドロップフレームモードを使用する。
512	TC OUT REF	<u>0000</u> 0001	<u>VOUT</u> TC_IN	メニュー No.520 TC MODE SW が EXT に設定されているときに、外部 LTC 入力に対して TC OUT 端子から出力されるタイムコードの位相を合わせる信号を設定します。(E-E モード時のみ) 0 : 出力映像信号に合わせる。 1 : 外部タイムコード入力信号に合わせる。
513	VITC OUT	<u>0000</u> 0001	<u>SBC</u> VAUX	出力ビデオ信号に重畳する VITC の出力方法を選択します。 0 : 再生モード時、SBC 領域に記録されているタイムコードを出力します。 1 : 再生モード時、VAUX 領域に記録されているタイムコードを出力します。 < ノート > HD シリアル入力により検出された VITC 情報は映像が記録される際、自動的に VAUX 領域に記録します。
514	HD EMBD VITC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD シリアル出力に VITC 情報を重畳するかしないかを選択します。 0 : VITC は重畳しません。 1 : VITC を重畳します。
515	HD EMBD LTC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD シリアル出力に LTC 情報を重畳するかしないかを選択します。 0 : LTC は重畳しません。 1 : LTC を重畳します。
520	TC MODE SW	<u>0000</u> 0001	<u>INT</u> EXT	記録時に基準とするタイムコードを設定します。 1 : 内蔵タイムコードジェネレータ 2 : 外部タイムコード
530	TC PRESET			内部 TCG のタイムコード値を設定します。 00000000 ~ 23595929
531	UB PRESET			内部 TCG のユーザーズビット値を設定します。 00000000 ~ FFFFFFFF

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

VIDEO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
603	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE GRAY	再生中にテープのブランク（空白）部分が検出されたときに、映像出力信号をミュートする設定を行います。 0：映像出力信号をミュートしない。（フリーズする） 1：映像出力信号映像をミュートする。（グレーにする）
620	DOWNCON MODE	0000 0001 0002 0003 0004	CROP LT-BOX SQUEEZ 14:9 13:9	ダウンコンバート時の画額処理を設定します。 0：サイドカットモード 1：レターボックスモード 2：スクウィーズモード 3：セミレターボックス 14:9 4：セミレターボックス 13:9 <ノート> 設定値の変更中は、出力音声ミュートされますが、異常ではありません。設定が終了すると、音声出力されます。
645	D/C ENH	0000 0001	OFF ON	ダウンコンバート時の輪郭強調を設定します。 0：輪郭を強調しない。 1：輪郭を強調する。
673	EDH	0000 0001	OFF ON	SD SDI 出力に EDH の重畳を設定します。 0：重畳しない 1：重畳する

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

AUDIO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	AUDIO IN SEL	0001 0002	ANA SDI	オーディオ信号の入力を設定します。(全チャンネル同時) 1 : アナログ信号入力に固定します。 2 : SDI 信号入力に固定します。 <ノート> アナログ信号入力時の各入力チャンネルは、テープ上での下記の音声トラックに記録されます。 CH1 入力 → CH1 と CH5 トラック CH2 入力 → CH2 と CH6 トラック CH3 入力 → CH3 と CH7 トラック CH4 入力 → CH4 と CH8 トラック
701	CH1 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	アナログオーディオ入力 (CH1) の基準レベルを設定します。
702	CH2 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	アナログオーディオ入力 (CH2) の基準レベルを設定します。
703	CH3 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	アナログオーディオ入力 (CH3) の基準レベルを設定します。
704	CH4 IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	アナログオーディオ入力 (CH4) の基準レベルを設定します。
706	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	アナログオーディオ出力 (CH1) の基準レベルを設定します。
707	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	アナログオーディオ出力 (CH2) の基準レベルを設定します。
708	CH3/L OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	アナログオーディオ出力 (CH3/L) の基準レベルを設定します。
709	CH4/R OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	アナログオーディオ出力 (CH4/R) の基準レベルを設定します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

AUDIO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
730	REC CUE	0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009 0010 0011 0012 0013	CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH1+2 CH3+4 CH5+6 CH7+8 CH1 ~ 8	CUEトラックに記録する入力信号を設定します。 1 : オーディオ入力CH1 2 : オーディオ入力CH2 3 : オーディオ入力CH3 4 : オーディオ入力CH4 5 : オーディオ入力CH5 6 : オーディオ入力CH6 7 : オーディオ入力CH7 8 : オーディオ入力CH8 9 : オーディオ入力CH1 とCH2 のミックス信号 10 : オーディオ入力CH3 とCH4 のミックス信号 11 : オーディオ入力CH5 とCH6 のミックス信号 12 : オーディオ入力CH7 とCH8 のミックス信号 13 : オーディオ入力CH1 からCH8 全てのミックス信号
731	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時における、音声編集点 (IN 点、OUT 点) やつなぎ撮り点の処理を設定します。 0 : 記録時の状態に従う。 1 : 強制的にカット処理を行う。 2 : 強制的にフェード処理を行う。
732	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	HD SDI 出力と SD SDI 出力にオーディオデータの重畳を設定します。 0 : 重畳しない。 1 : 重畳する。
765	CUE OUT SEL	0000 0001	OFF ON	オーディオ出力 (本線系) への、アナログ CUE 信号出力を設定します。 0 : アナログ CUE 信号を出力しない。 PLAY 時は PCM 音声を出力し、PLAY 時以外は、無音声となる。 1 : アナログ CUE 信号を出力する。 PLAY 時は PCM 音声を出力し、PLAY 時以外は、アナログ CUE 信号を出力する。
769	MONI SEL	0000 0001	PLYPCM PLYCUE	PLAY 時のモニター出力音声を設定します。 0 : PCM 音声を出力する。 1 : CUE 音声を出力する。
770	MONITOR MIX	0000 0001	STEREO CH1+2	オーディオモニター出力の音声を設定します。 (フロントパネルのオーディオモニター切り替えスイッチが「ST」の位置のときに機能します。) 0 : STEREO 出力する。 1 : MIX 出力する。(L/R 端子共に MIX 音声)
771	H.PHONE MIX	0000 0001	STEREO CH1+2	ヘッドホン出力の音声を設定します。 (フロントパネルのオーディオモニター切り替えスイッチが「ST」の位置のときに機能します。) 0 : STEREO 出力する。 1 : MIX 出力する。(モノラルイヤホン使用時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー

AUDIO

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
780	AUD OUT SEL	<u>0000</u>	LINE	アナログオーディオ出力端子の出力音声を設定します。 0 : 全ての出力端子を本線系出力として使用する。 CH1 端子 = CH1 音声 CH2 端子 = CH2 音声 CH3 端子 = CH3 音声 CH4 端子 = CH4 音声 1 : CH1 と CH2 の出力端子を本線系出力として使用し、CH3 と CH4 の出力端子をモニター出力端子として使用する。 CH1 端子 = CH1 音声 CH2 端子 = CH2 音声 CH3 端子 = モニター L (CH1、CH2、CH1+CH2) 音声 CH4 端子 = モニター R (CH1、CH2、CH1+CH2) 音声 2 : CH1 と CH2 の出力端子を本線系出力として使用し、CH3 と CH4 の出力端子をモニター出力端子として使用する。 CH1 端子 = CH3 音声 CH2 端子 = CH4 音声 CH3 端子 = モニター L (CH3、CH4、CH3+CH4) 音声 CH4 端子 = モニター R (CH3、CH4、CH3+CH4) 音声
		0001	CH1/2	
		0002	CH3/4	
781	IN IMP SEL	<u>0000</u> 0001	<u>600</u> HIGH	アナログオーディオ入力のインピーダンスを設定します。 0 : 600 1 : High インピーダンス < ノート > 本設定に関係なく、メニュー No.701 ~ 704 CH1 ~ 4 IN LV で - 60dB を設定したときは 3k に設定されます。

_____ は、工場出荷モードです。

MENU

項目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A02	P.ON LOAD	<u>0000</u> 0001	OFF ON	電源を入れたときに、セットアップメニューの設定内容を、ユーザーの初期設定値に変更する設定を行います。 0 : 変更しません。 1 : 変更します。

_____ は、工場出荷モードです。

エラーメッセージ

装置に異常が発生した場合には、フロントパネルのカウンター表示部とモニターのスーパー表示に下記のエラーメッセージが表示されます。

スーパー表示では、カウンター値の表示部分にエラー番号が表示されます。

また、セットアップメニュー No.006 で「T&S&M」が選択されている場合、スーパー表示のモード表示部にエラーメッセージが表示されます。

エラー番号	エラーメッセージとエラー内容
- d -	DEW 露付き。 セットアップメニュー No.152 HUMID OPE が「ON」のときは、操作が可能です。 フロントパネルのカウンター表示部には、カウンター値と「- d -」が交互に表示します。
E-00	SERVO NOT LOCKED 再生時や記録時に、サーボが 3 秒以上外れたとき。
E-01	LOW RF 再生時に、1 秒以上ヘッド出力がないとき。 (目づまり等)
E-02	HIGH ERROR RATE エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正や補間がかかったとき。
E-09	NO RF 再生時に、テープのブランク部分を 1 秒以上検出したとき。 下記の条件を全て満たしたときをブランク部分として認識します。 ・全てのヘッド出力がない。 ・再生データが読みとれない。 ・CTL 信号がない。
E-10	FAN STOP ファンモーターが停止したとき。 停止した状態で約 5 分経過すると、自動的に POWER OFF になります。
E-29	FRONT LOAD MOTOR EJECT モードに移行し、6 秒経過してもカセットアップしないとき。
E-31	LOADING MOTOR アンローディング動作が、6 秒以内に完了しないとき。
E-51	FRONT LOAD ERROR ローディング途中（ハーフポジション）の始末端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りしたとき。
E-52	W-UP REEL NOT ROTA カセット挿入後、テープ総量未検出状態でのテープ走行中に、巻き取り側リールがテープを巻き取っていないとき。
E-53	WINDUP ERROR テープ総量検出後、テープ走行中に、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なったとき。

エラー番号	エラーメッセージとエラー内容
E-55	UNLOAD ERROR アンローディング時に、テープを巻き取らなかったとき。
E-57	S-FF/REW TIMEOVER テープの始末端処理動作が終了しないとき。
E-59	DRUM ROTA TOO SLOW シリンダモーターの回転数が、異常に低いとき。
E-60	DRUM ROTA TOO FAST シリンダモーターの回転数が、異常に高いとき。
E-61	CAP ROTA TOO SLOW キャプスタンモーターの回転数が、異常に低いとき。
E-64	S REEL TOO FAST S リールモーターの回転数が、異常に高いとき。
E-67	T REEL TOO FAST T リールモーターの回転数が、異常に高いとき。
E-69	T REEL TORQUE ERR T リールモーターに、異常トルクがかかっていることを検知したとき。
E-6A	IF マイコンと FRONT マイコン間の通信異常が発生したとき、フロントパネルのカウンター表示部に表示されます。 このとき、スーパーインポーズ表示そのものが消えます。
E-6B	FRP ERROR マイコン基準信号に異常が発生したとき。
E-70	S REEL TORQUE ERR S リールモーターに、異常トルクがかかっていることを検知したとき。
E-71	CAP TENSION ERROR キャプスタンモードで、S 側テンション異常を検出したとき。
E-72	REEL TENSION ERROR リールモードで、S 側テンション異常を検出したとき。
E-73	REEL DIR UNMATCH 巻き取り側のリールモーターが逆転したとき。
E-bA	BATTERY 入力 DC 電圧が、アンダーカット電圧（約 10.6V）以下になったとき。

EMERGENCY イジェクト

緊急時に手動でテープを取り出す手順

EJECT ボタンを押しても、カセットテープを取り出せないときは、下記の方法で取り出すことができます。

- 必ず、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。

- ① トップパネルを外します。
- ② 赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回します。
(アンローディングを開始するまで、約 30 回転必要です。)
- ③ 巻き取り治具 (同梱品) をテープ引き出し口 (VTR のメカニズム側) より差し込み、S リールのフランジ部 (白いギヤ) を、巻き取り治具のゴム部で巻き取り方向に回転させ、テープのたるみを取ります。

< ノート >

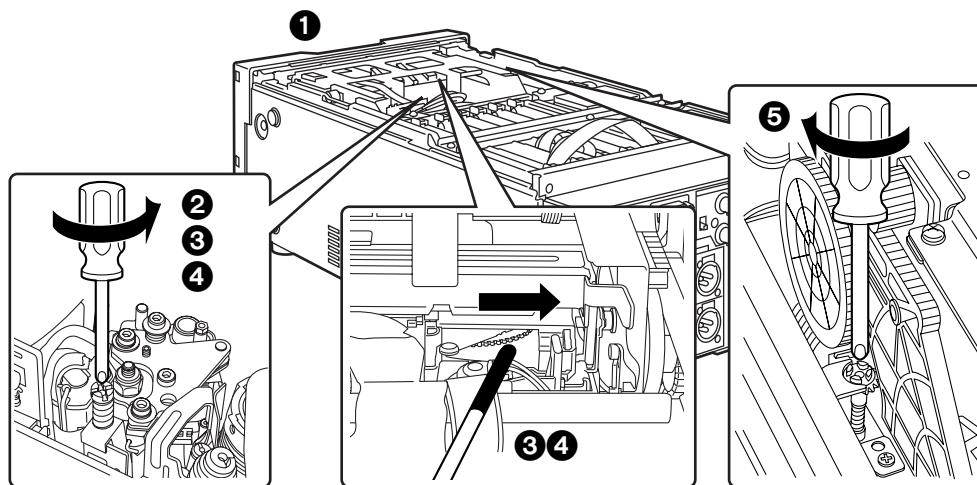
テープを傷つけないように、注意してください。

- ④ 再度、赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回し、S リールのフランジ部を、巻き取り方向に回転させて、テープのたるみを取ります。
テープが完全にカセットケースに納まるまで、約 90 回転 (赤いプラスチックのねじ部) この操作を繰り返します。

- ⑤ スロットイン側の赤いプラスチックのねじ部を、プラスドライバーで時計方向に回し、カセットテープを取り出します。
(テープがイジェクトするまで、約 140 回転必要です。)

< ノート >

カセットの蓋が閉じるときに、テープが噛み込まないように、注意してください。



ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために毎日ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。クリーニング液は、当社指定のものをご使用ください。

結露

露付きが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴 (露) がつくのと同一原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところへ移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の高いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに 10 分程度放置したままお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部にエラーメッセージ (· · d · ·) が点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま電源を入れた状態で、エラーメッセージが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチを OFF にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
 2. 保証期間...お買い上げ日から1年間
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
 - (I) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (II) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (III) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (IV) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
 - (V) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
 - (VI) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷
 3. 補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
 4. 修理を依頼される前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ、「エラーメッセージ」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。
 5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- * 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● 各種ベルト |
| ● ピンチローラー | ● ゴムプリー類 |
| ● 各種プレーキ | ● ローラー類 |
| ● モーター類 | ● ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源電圧：AC100V ± 10%、50Hz/60Hz
消費電力：97W
DC 電源電圧：12V
DC 電源入力電流：6.1A

 は安全項目です。

動作周囲温度

5 ~ 40

動作周囲湿度

10% ~ 85% (結露無し)

重量

8.2kg

外形寸法

214 (幅) × 132 (高さ) × 430 (奥行) mm

記録フォーマット

DVCPRO HD

記録ビデオ信号

1080i/59.94Hz、720p/59.94Hz 切り替え

記録オーディオ信号

48kHz、16bit、8ch

記録トラック

- デジタル ビデオ/オーディオ：
ヘリカルトラック
- タイムコード：
ヘリカルトラック (サブコード領域)
- キュー信号：
1トラック
- コントロール (CTL)：
1トラック

テープスピード

135.28 mm/秒

記録時間

46分 (AJ-HP46LP 使用時)

使用テープ

メタルテープ

FF/REW 時間

4分以内 (AJ-HP46LP 使用時)

【ビデオ】

■ デジタルビデオ

サンプリング周波数

Y：74.25/1.001MHz

P_B/P_R：37.125/1.001MHz

量子化

8bit

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100Mbps

■ ビデオ入力端子

HD シリアルデジタル入力

BNC × 2 (アクティブスルー)

(SMPTE292M/296M 規格に準拠)

リファレンス入力

アナログコンポジット/HD 3 値 SYNC

(59.94Hz) 自動切り替え

BNC × 2 (ループスルー)、

75 ON/OFF 切り替え

■ ビデオ出力端子

HD シリアルデジタル出力

BNC × 1

(SMPTE292M/296M 規格に準拠)

SD シリアルデジタル出力 (ダウンコンバーター)

BNC × 1

(SMPTE259M-C 規格に準拠)

アナログコンポジット出力 (ダウンコンバーター)

BNC × 2、

VIDEO 1、VIDEO 2 (スーパー ON/OFF)

■ ビデオ出力調整範囲

HD シリアルデジタル出力システム位相

± 0.5H (± 550 Sample、27ns ステップ)

SD シリアルデジタル/コンポジットビデオ出力
システム位相

± 0.5H (± 429 Sample、74ns ステップ)

コンポジットビデオ出力 SC 位相

± 180 度

定 格

【オーディオ】

■ デジタルオーディオ

サンプリング周波数

48kHz (ビデオに同期)

量子化

16bit

周波数特性

20Hz ~ 20kHz \pm 1dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

85dB 以上

(1kHz、エンファシス OFF、“A” weighted)

歪率

0.1%以下

(1kHz、エンファシス OFF、基準レベル)

クロストーク

- 80dB 以下 (1kHz、2チャンネル間)

ワウ&フラッター

測定可能値以下

ヘッドルーム

20dB

■ オーディオ入力端子

アナログ入力 (CH1/CH2/CH3/CH4)

XLR \times 4、600 Ω /High インピーダンス切り

替え可能 (デフォルト: 600 Ω)

+ 4/0/ - 20dBm/ - 60dBu 切り替え可能

(- 60dBu は 3k Ω)

HD シリアルデジタル入力

SMPTE299M 規格に準拠 (BNC、75 Ω)

■ オーディオ出力端子

アナログ出力 (CH1/CH2/CH3/CH4)

XLR \times 4、Low インピーダンス、

+ 4/0/ - 20dBm (600 Ω 負荷時) 切り替え

可能

CH3/CH4 出力はモニター出力 L/R 切り替え

可能

HD シリアルデジタル出力

SMPTE299M 規格に準拠 (BNC、75 Ω)

SD シリアルデジタル出力

SMPTE272M-A 規格に準拠 (BNC、75 Ω)

ヘッドホン出力

M3、8 Ω 、レベル可変

【その他の入出力端子】

タイムコード入力

BNC \times 1、0.5 ~ 8V [p-p]、10k Ω

タイムコード出力

BNC \times 1、Low インピーダンス、

2.0 \pm 0.5V [p-p] (600 Ω 負荷時)

RS-422A 入力

D-sub 9pin、AJ-A95 用

RS-422A インターフェース

DC 電源出力

4pin \times 1、DC 12V、250mA、AJ-A95 用

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161